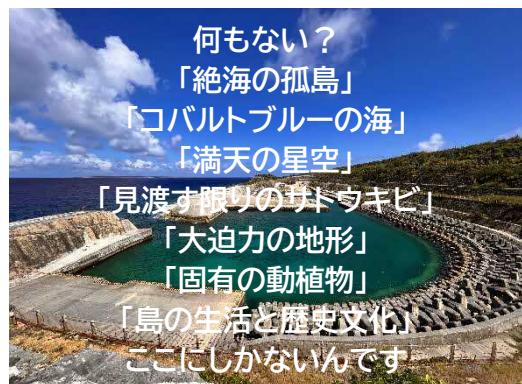
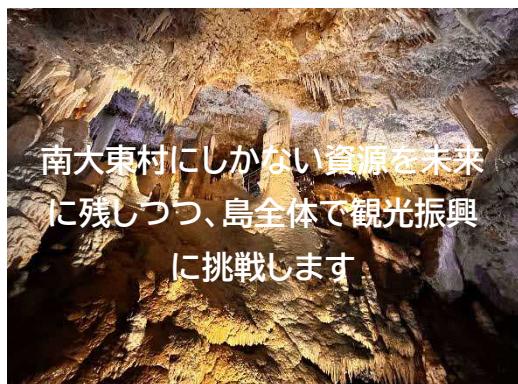


おじゅりやれ うふあがり島観光ビジョン 2024

南大東村観光振興計画



令和 6 年 8 月



南大東村

目 次

第 1 章　観光ビジョン 2024 の考え方	1
1. おじやりやれ うふあがり島観光ビジョン 2024 の背景と目的	1
2. 計画の位置づけ	1
3. 計画期間	1
第 2 章　関連計画・関連施策の整理	2
1. 新・沖縄 21 世紀ビジョン基本計画(沖縄振興計画)	2
2. 第6次沖縄県観光振興基本計画	4
3. 第 5 次南大東村総合計画(令和 5 年 3 月)	5
4. 第 2 期南大東村人口ビジョン・総合戦略(令和 5 年 3 月)	7
5. 南北大東島連携おじやりやれプロジェクト及び協力体制	10
6. 島まるごとミュージアム構想	10
7. 令和 6 年度 施政方針(令和 6 年 3 月)	10
第 3 章　現行の観光振興計画の達成状況	12
1. 基本理念	12
2. 将来像	12
3. 現行計画の取組み状況	13
第 4 章　南大東村の観光資源	14
1. 南大東村の概要	14
2. 南大東村の観光資源	14
第 5 章　統計情報	29
1. 人口推移と推計人口	29
2. 入域観光客数の推移	29
3. 航空輸送実績	30
4. 島内の移動手段	30
5. 種別宿泊施設等	31
6. ツアー客の村内での支出について	31
第 6 章　南大東村観光の現状と課題	32
1. 地域資源に関する現状と課題	32
2. 受入環境に関する現状と課題	35
3. 商品・サービスに関する現状と課題	37
4. 人材育成に関する現状と課題	38
5. 情報発信に関する現状と課題	39
6. 観光振興の推進体制に関する現状と課題	40
第 7 章　南大東村観光振興のビジョン	41
1. 南大東村観光振興の 10 年間の目標	41
2. 施策の展開	43
3. 具体的な取組	44

第1章 観光ビジョン 2024 の考え方

1. おじやりやれ うふあがり島観光ビジョン 2024 の背景と目的

古来南大東島は、琉球人の間でウファガリ島として知られ、1885(明治 18)年、沖縄県庁の探検により日本国標が建てられ、沖縄県に属しました。

1899(明治 32)年に、玉置半右衛門氏が本島開拓の許可を受け、郷里八丈島において同志を募り、60 日余の難航海を経て現在の西港に上陸、開拓に着手したのが本島開拓の始まりです。

開拓以来 40 年余玉置商会、東洋製糖会社、大日本製糖会社(日糖興業)の経営する島で日本国中にも類例のない社会制度が続けられていましたが、1946(昭和 21)年 6 月 12 日歴史的な村制が施行され、南大東村が誕生しました。

そこから、現在に至るまで、サトウキビを中心とする農業を基幹産業として島の風景や歴史文化が育まれてきました。

しかし、南大東村の人口は減少傾向が続いており、過疎化対策としての若者層を中心とする定住促進対策に加えて、観光客などの「交流人口」の増加、新たな「仕事の創出」が地域活性化に必要になっていきます。

南大東村においてはこれまでの主力産業であるさとうきび関連産業に加えて、観光産業の振興を図ることによって島の課題解決に取り組むことが必要になっています。

2. 計画の位置づけ

おじやりやれ うふあがり島観光ビジョン 2024 は、「第 5 次南大東村総合計画(計画期間:2023 年～2032 年)」を上位計画とし、観光の面から南大東村の地域振興を進めるための計画として位置づけます。

さらに、「新・沖縄 21 世紀ビジョン基本計画(沖縄振興計画)」や「第 6 次沖縄県観光振興基本計画」、本村の「島まるごとミュージアム構想」をはじめ、関連する各分野の既存計画との整合を図りながら、観光振興のための具体的な取り組みを進めるための計画とします。

3. 計画期間

おじやりやれ うふあがり島観光ビジョン 2024 南大東村観光振興計画の計画期間は、2025(令和 7)年度から 2034(令和 16)年度の 10 年間とします。

第2章 関連計画・関連施策の整理

1. 新・沖縄 21世紀ビジョン基本計画(沖縄振興計画)

(1) 施策展開の基本的方針

「安全・安心で幸福が実現できる島」の形成

(2) 施策展開の基本方向

- ・平和で生き生きと暮らせる「誰一人取り残すことのない優しい社会」の形成
- ・世界とつながり、時代を切り開く「強くしなやかな自立型経済」の構築
- ・人々を惹きつけ、ソフトパワーを具現化する「持続可能な海洋島しょ圏」の形成

(3) 基本施策

将来像 1: 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島

将来像 2: 心豊かで、安心・安全に暮らせる島

将来像 3: 希望と活力にあふれる豊かな島

将来像 4: 世界に開かれた交流と共生の島

将来像 5: 多様な能力を発揮し、未来を拓く島

(4) 南部離島における展開

・離島における定住条件の整備及び地域活性化

本圏域の離島においては、多様な魅力を有する自然環境、伝統文化等の地域資源を保全・活用するとともに、廃棄物等による環境負荷に対して脆弱なことから効果的な廃棄物処理等を推進します。

慶良間諸島におけるダイビングやホエールウォッチングに代表されるエコツーリズム、久米島の海洋深層水を活用した保養・療養型観光など、特有の自然・景観、伝統・文化等の魅力を生かした交流人口及び関係人口の拡大並びに農林水産業等の地場産業との連携による地域活性化に向けた取組を積極的に推進し、離島ならではの体験・滞在型観光を促進します。

農林水産業については、農水産物を活用した特産品の開発、ブランド化、観光産業等と連携した6次産業化の展開や販路拡大など、離島ごとの環境・特性を生かした振興を図ります。また、離島地域の経済を支えているさとうきびの増産に向けた取組を推進するとともに、農家の所得安定及び製糖事業者の経営安定化に向けた支援、黒糖ブランドの確立、販路開拓等による需要拡大を図ります。さらに、干ばつ被害や台風等の気象災害から農作物被害を防ぐため、農業用水源や防風林等の生産基盤の整備を推進します。

生活環境の整備に向けては、離島の地域特性に応じ、定住化に向けた魅力ある居住環境の形成を促進し、公営住宅の整備等を推進します。また、水道水の安定供給を図るため、地域の実情に応じた水道広域化を推進し、水道事業の運営基盤を強化するとともに、水道施設の計画的な整備、更新及び耐震化に取り組みます。さらに、本圏域の離島における汚水処理施設については、人口動態等の地域の実情に応じた整備に取り組みます。

都市部と同等の情報通信環境の確保に向けては、情報通信基盤の高度化及び ICT の利活用を促進するとともに、遠隔教育や遠隔診療など ICT や新技術を活用することにより、教育、医療、福祉の生活環境基盤の充実など定住条件の整備に取り組みます。また、島しょ地域の魅力を生かしたワークーションや移住定住住宅・コワーキングスペース等としての空き家の利活用を促進します。さらに、空港、港湾、漁港、道路等の整備を推進し、定住条件の整備に取り組み、交流人口及び関係人口の拡大による地域の活性化を促進します。あわせて、航空路線及び海上航路を確保・維持するとともに、交通・生活コストの低減を図ります。

高等学校等が設置されていない離島の生徒については、高等学校等への進学に伴う家庭の経済的負担の軽減等を図ります。また、児童生徒における本島や県外との交流を促進するとともに、市町村との連携による環境整備の促進など、離島留学を推進します。

2. 第6次沖縄県観光振興基本計画

(1) 沖縄観光の目指す将来像

「世界から選ばれる持続可能な観光地」

-世界とつながり、時代を切り拓く「美ら島 沖縄」-

(2) MISSION(使命・役割)

①平和で生き生きと暮らせる県民、観光事業者、観光客の全てが幸せな三方よしの社会

②世界とつながり、時代を切り拓く「強くしなやかな自立型経済の構築」

③人々を惹きつけ、ソフトパワーを具現化する「持続可能な海洋島しょ圏」の形成

(3) 将来像達成のイメージ／GOALs

「世界から選ばれる」とは、世界の人々に認知され、国内有数の広大な海域から構成される海洋島しょ圏として、温暖な亜熱帯海洋性気候のもと、世界自然遺産に登録された「沖縄島北部及び西表島」などの豊かな自然環境や、首里城を始めとする「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の世界文化遺産、琉球料理、泡盛、空手、組踊など独自の歴史文化を生かして、沖縄でしか味わうことのできないリアルな体験が国内外の旅行者から選ばれる状態を指す。

「持続可能な」とは、多くの固有種や希少種が生息・生育する生物多様性に富んだ豊かな自然環境や地域住民の生活環境への影響を可能な限り軽減しながら、観光業に従事する人々が質の高い安定した暮らしを継続するとともに、地域社会の発展に資する自然・歴史・文化を次世代に引き継ぐ担い手が育成される環境が整った状態を指す。

3. 第5次南大東村総合計画(令和5年3月)

(1)むらづくりの基本構想

①基本理念

「進取」「調和」「琢磨」

- ◆進取～開拓者精神が活きるむらづくり～
- ◆調和～自然とともに歩むむらづくり～
- ◆琢磨～人と文化を育むむらづくり～

②南大東村の将来像

第5次南大東村総合計画で目指す将来像は、

人と自然が未来を拓く フロンティアアイランド
～笑顔あふれる ウファガリ島～

③むらづくりの目標

- 目標1 みんなで学び合い、人も地域も輝く島【教育・文化分野】
- 目標2 誰もが健やかに生き生きと暮らせる島【保健・福祉・防災・消防救急分野】
- 目標3 自然の恵みを資源に、にぎわいと活力のある島【産業分野】
- 目標4 自然と調和した快適な暮らしが持続する島【交通・生活基盤・環境衛生・情報通信】

④基本計画(第3節 商工業・観光業の振興)

◆施策の基本方向

- ・事業所等への経営支援に努める
- ・地域の農産物・水産物を活用した特産品の開発及び販路拡大の促進
- ・「島まるごとミュージアム」構想の推進
- ・観光客数1万人を目指した取り組みを進める

◆これまでの取組み

- ・県内外のイベント等における観光資源のPR
- ・シーガートレインのサイン類の設置など、景観に考慮した案内サインの設置
- ・観光振興協議会等と連携した各種体験メニューの開発

- ・「島あっちい事業(県事業)」などを活用した新たな観光メニューの開発
- ・観光人材の育成・充実
- ・「島まるごとミュージアム」構想を踏まえた観光振興計画の策定
- ・沖縄県の離島フェアや本土大都市における観光 PR
- ・民間事業所と連携したツアー企画

◆課題

- ・観光資源の維持管理の実施
- ・観光体験メニューの開発促進、観光ガイドの育成
- ・観光推進協議会の体制強化
- ・誘致イベントの充実

◆具体的な取組み

- ・「島まるごとミュージアム」構想の推進
 - 観光資源として文化財や伝統文化、島の自然や歴史を伝える「南大東村ビジターセンター(島まるごと館)」「南大東村立ふるさと文化センター」と連携したエコツーリズムを導入し、島外への「遺産」の情報発信を行います。
 - 環境や景観と調和した観光資源、観光案内版の補修・改善に努めます。
 - 観光推進協議会等と連携を図りながら、各種体験メニューの内容充実、新たな観光メニューの開発を進めるとともに、受け入れ農家、漁家の育成・確保に取り組みます。
 - 村や関係機関のホームページ等を活用し、新たに整備された星野洞などの観光資源の PR に努めるとともに、観光ガイドの育成を促進していきます。
- ・観光客 1万人誘致にむけた取組みの強化
 - 観光業の振興を担う観光推進協議会の体制強化に向けて支援します。
 - 離島フェア等、各種イベントへの参加者や観光客誘致イベントの開催等に取り組むとともに、民間事業所と連携した観光メニューの開発を促進します。
 - 観光の振興にむけ、「島まるごとミュージアム」構想を踏まえた観光振興計画の推進に取り組みます。

◆目標指標

観光業の振興に係る目標指標は、次のようになっています。

目標指標	現状値(R4 年度)	目標値(R9 年度)
観光客の増加	4,000 人	5,000 人

4. 第2期南大東村人口ビジョン・総合戦略(令和5年3月)

(1) 南大東総合戦略の目指す社会・目標

〈キャッチフレーズ〉

夢と志を持ち、力を合わせて未来を拓くフロンティアアイランド
～雄大な自然と人の温かみを感じることのできる希望の島～

(2) 基本目標

基本目標1：地域の強み・特色を活かした「稼ぐ産業」の開拓

1-①農業の推進による地場産業の振興

1-②海に囲まれた本村の特性を生かした漁業の振興

1-③活気ある観光業・商工業の振興

1-③活気ある観光業・商工業の振興

観光振興に向け、本村の豊かな自然といった観光資源の情報発信を充実していくとともに、観光協会や沖縄県等との連携のもと、新たな体験メニューや魅力あるコンテンツづくりといった観光資源の開発、受け入れ態勢の強化等を図り、滞在型観光の推進を図ります。

また、農水産物などを活かした地場産品の開発や販路拡大を図るとともに、小売店舗の育成や企業支援等を図り、地域経済の活性化をめざします。

→ (3) 具体的な施策

● 交流人口の増加に繋がる滞在型観光の推進

本村は絶景を誇る星野洞や大地のオヒルギ群落など恵まれた自然環境を有しているとともに、ダイナミックな景観資源や文化財、伝統文化等、多様な魅力に溢れた島となっていることから、「島まるごとミュージアム」構想を踏まえた観光振興を図り、その活用を促進していきます。

また、シュガートレインの活用に向けた取組みや魅力あるコンテンツづくり、新たな観光ルートの開発等を図り、交流人口の増大等に繋がる滞在型観光の推進を図ります。

<主な取組み>

・シュガートレインの活用に向けた取組みの推進

・ふるさと納税制度やクラウドファンディングの活用等も含めたシュガートレインの活

用支援金造成の検討

- ・「島まるごとミュージアム」構想を踏まえた観光の振興
- ・観光振興基本計画の見直し
- ・離島観光・交流促進事業「島あっちい」によるプランディングの充実
- ・新たな観光ルートの開発(15の春を題材とした映画ロケ地を巡る観光ルート等)
- ・観光に資する航空運賃補助の検討
- ・さとうきびの機械化農業の視察ツアー(1月～3月)

<重要業績評価指標>

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (令和4年度実績値)	令和9年度 目標値
観光客数の増加	4,000人	5,000人

(4)観光振興に関わる他分野の施策具体的な施策

※観光振興に関係のあると思われる具体的な施策を、基本目標の分野ごとに掲載します。

1-①農業の推進による地場産業の振興

◆農業の可能性拡大

- ・特産品開発の推進及び島外の販路拡大
- ・ハッピーグリーンマーケットでの地場産品のPRの充実

1-②海に囲まれた本村の特性を生かした漁業の振興

◆漁業の振興に向けた環境づくり・事業展開の推進

- ・水産物の安定供給に向けた漁業観光整備(漁港施設の整備促進、漁礁の維持管理等)
- ・遊漁船ツアー等の充実

1-③活気ある観光業・商工業の振興

◆商工業の振興

- ・特産品開発に対する支援とPRの拡充
- ・ハッピーグリーンマーケットでの地場産品のPRの充実
- ・ふるさと納税制度を活用した特産品等の販路拡大
- ・中小企業への支援強化
- ・企業・創業に対する支援

2-①移住・定住に向けた取組みの推進

◆移住に向けた情報発信・体験居住の推進

- ・離島観光・交流促進事業「島あっちい」によるプランディングの充実

- ・体験居住の仕組みの検討(ふるさと納税制度の返礼品としての島での体験居住等)

- ◆移住・定住のための住宅等の整備

- ・空き家利活用方策の検討実施

- ・ワーケーションの促進に資する環境整備(光ファイバー網による超高速ブロードバンド基盤の整備・充実等)

5. 南北大東島連携おじやりやれプロジェクト及び協力体制

本プロジェクトは、南北大東諸島での中小企業支援による地域活性化と地域ブランド構築に取り組みます。両島の特異な地域資源を、地域連携することにより相乗効果を生みだす付加価値の高い商品、サービスを開発できるように、共通課題について共に解決し、双方の地域中小企業者の参画を図り、地域経済の活性化に結実することを目的に令和4年度～令和6年度に事業を展開してきました。

今後は県内外のイベント等について協力体制を推進していきます。



※おじやりやれ…八丈島由来の言葉で「いらっしゃい」の意味

6. 島まるごとミュージアム構想

◆概要

- ・平成12年に開拓100周年を迎えたことをきっかけに、島全体の特異な自然や歴史、文化、産業等の「宝」を収蔵するミュージアムとして考えて、地域資源の再発見による活性化を目指した。
- ・拠点施設「島まるごと館」での住民同士の情報交換、南大東島のシンボルであるダイトウオオコウモリの増殖保護のためのビロウ等の植栽、地域資源の情報収集と学習への活用による人材育成等を実施。
- ・これまで当たり前に感じていた島特有の地域資源を見直す村民が増え、子供達が島のすばらしさに興味を示し始めた。又、エコツーリズム推進協議会結成など、活動の広がりが見えた。

7. 令和6年度 施政方針(令和6年3月)

◆自然の恵みを資源に、にぎわいと活力のある島(産業について)

基幹作物さとうきびや豊かな海・自然・文化資源といった本村ならではの地域資源を活かし、環境にも配慮しながら、さらなる産業の活性化を図り、にぎわいと活力が満ちあふれる村づくりを目指します。**農業や水産業をはじめ、商工業、観光等による事業展開を図り産業振興を進めます。**また、加工品等の販路や市場の拡大、担い手の確保に努めるとともに、島外への物流コストの低減を図り、観光資源を活用した交流人口の拡大を目指します。

商工業・観光業の推進については、事業者の適切な経営アドバイスや各種融資制度の周知等の事業による村商工会への支援を継続します。農漁村生活研究会や民間企業と連携を図りながら、加工品開発を促進し、販路拡大を進めます。「TERIHAオイル」を島の特産品として積極的にPRを行い、地域特産品として推進を図ります。島まるごとミュージアム構想を推進するため、観光資源として文化財や伝統文化、島の歴史を伝えるシュガートレイン等の活用を再検討し、環境や景観と調和した観光資源を活用したPRに務め、村観光推進協議会と連携を図りながら、観光客1万人誘致に向けた観光振興計画の推進に取り組みます。

第3章 現行の観光振興計画の達成状況

現行の南大東村観光振興計画である「おじやりやれ うふあがり島観光ビジョン 2015」は、平成 27 年 3 月に策定され、計画期間を平成 27(2015)年から令和 6(2024)年の 10 力年として計画の推進を図つてきました。

計画の概要と取り組み状況は以下のようになっています。

1. 基本理念

理念1:南大東村の持続的な発展の為には、主力産業である農業に加えて観光振興による交流人口の増加が重要であるとの認識を持ちます。

理念2:先人たちの開拓者精神に学び、南大東島の貴重な自然の保全・活用を図るとともに、独特な伝統文化の継承・発展に取り組み、来島者に感動を与え、何度も訪れたくなるような南大東島になることを目指します。

理念3:行政、市民、観光関係者、農業・漁業関係者など南大東村の発展を願う方々が気持ちを一つにして計画の実現に取り組みます。

2. 将来像

心が動く 島が動く 人と自然のふれあい天国 うふあがり島

3. 現行計画の取組み状況

現行の南大東村観光振興計画に定めている基本戦略を実現するための施策を以下のように定めており、その取り組み状況を確認します。

基本戦略	基本施策	短期施策	取り組み状況
【基本戦略1】 南大東村の特性(価値)を活かし、訪問者に感動を与えます	①自然を活かしたエコツーリズム	南大東島エコツーリズム・ガイドラインの策定	未
		自然体験案内ガイド育成	未
	②文化を活かした観光	豊年祭などの祭りについての情報発信強化	村役場のホームページ、観光協会のホームページ。
		食の魅力向上	南大東農魚村生活研究会にて商品開発して村内、県内コンビニに出荷。
	③体験プログラム開発	ダイビングスポット紹介ガイドブック作成	未
		釣り体験プログラム開発	2,000年に実施、継続には至っていない。
		民泊促進	修学旅行を民泊で受け入れ実施
	④クルーズ誘致	誘致活動展開	新型コロナウイルス感染症拡大以前に実施。
	⑤気象観測活用	南大東島気象観測ガイド養成	未
	⑥その他イベント開催	南大東村ならではのイベント開催	ボロジノフェア、南大東豊年祭。
【基本戦略2】 シュガートレインの復活による新たな魅力を創出します	①シュガートレイン運営方針策定	仕組みづくり検討	H27から検討委員会は設置して数回協議したがいまは止まっている。
	②日本最南端の鉄道(駅)としてのアピール	情報発信強化	未
	③村民と観光客の交流機会創出	プログラム開発	未
【基本戦略3】 観光交流の活性化に向けて南大東村全体で力を合わせて取り組みます	①受け入れ体制整備	エコツーリズム推進	未
		島内環境整備	一部案内板設置したがまだ足りない。緑化美化運動も人員不足あり。
		情報通信基盤整備	役場、空港、文化センターで無線 LAN 設置。
	②観光推進体制強化	観光ビジョン連絡会(仮称)設置	商工会を中心に活動
	③情報発信強化及び南大東島観光大使制度拡充	南大東村の観光と物産フェア開催	商工会を中心に品評会等を10年継続
		情報発信強化及び「新・南大東島観光大使制度」創設	実施(現在2名)
	④観光統計整備	観光客実態調査等実施	未

第4章 南大東村の観光資源

1. 南大東村の概要

南大東村は、沖縄本島の東 360 kmにある大東諸島のうち南大東島を村域とします。島全体が隆起環礁でできており、断崖絶壁に囲まれています。内陸は見渡す限りサトウキビ畑が一面に広がり、島の中央部は湿地帯で大小 50 余りのカルスト湖沼が点在しています。沖縄県最大の湖沼「大池」は、周囲が約 4km あり、北側の湿地帯にマングローブを形成するオヒルギ群落が生息しています。

大陸から隔離された南大東島には、国指定の天然記念物「ダイトウオオコウモリ」など、固有の動植物が数多く生息しています。また、島の海域は漁場に恵まれ、マグロ、サワラ等の漁獲が豊富です。

2. 南大東村の観光資源

本村の有する観光資源・観光施設等の現況は以下のようになっている。

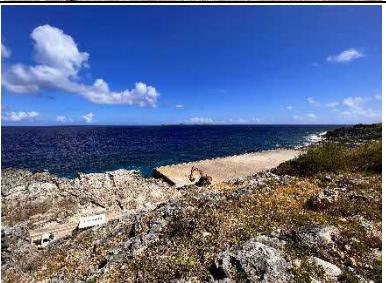


(1) 主な観光名所・文化財・史跡等

名称等	写真
星野洞 星野洞は、「ふるさと創生基金」にて観光資源として開発、平成6年1月に落成しました。 洞内には多数の石柱・つらら石・石筍などの鍾乳石があり、神秘の世界を披露し地元民はもとより観光客を魅了しています。	
日の丸山展望台 昭和55年(1980年)に設置され、展望台上に立つと島内全景を一望することができます。 戦時中は電波探知機部隊の陣地で、現在でもその壕跡が残っています。	
ふるさと文化センター 主な収蔵品には島内流通紙幣や島で最古の太鼓・機関車等を展示しています。	
海軍棒 海辺の岩礁を掘り取った自然のプール。島には砂浜がなく、その為子供達は人工堀込式プールで夏を楽しむ。安全に泳ぎながら熱帯魚やカニを捕まえられるのは、自然のプールならではです。	
琉球松並木 大正6年に東洋製糖株式会社は、島民の生活と生産の向上という面から防風林の必要性を重視するとともに本格的に植林計画を立てて生育に着手し、大正10年～15年にかけてリュウキュウマツ等を主体に、年次計画で植林を実施しました。	

<p>ダイトウビロウ</p> <p>高さ20Mにも及ぶヤシ科の高木で、村木となっています。</p>	
<p>バリバリ岩</p> <p>フィリピン海プレートに乗り、今も移動している南大東島、そのエネルギーが裂け目として表れているのが、「バリバリ岩」です。</p>	
<p>ゴジラ岩</p> <p>日本を代表する特撮映画、「ゴジラ」に見える自然の造形です。</p> <p>見る角度が違うと、ただの岩です。</p> <p>ベストポジションを見つけてください。</p>	
<p>南大東漁港</p> <p>全国的にあまり例を見ない、島の岩盤を掘り込んだ港です。</p>	
<p>上陸記念碑</p> <p>西港の入り口に建てられた記念碑です。</p> <p>現在の記念碑は2代目の碑で1930年に建立されたものです。</p>	

<p>島まるごと館(ビジターセンター) ※休館中</p> <p>「南大東島まるごとミュージアム」は「島まるごと館」を拠点とし、情報を発信する活動の場とし、子供からお年よりまで島のすべての人が集い参加することによって作られる、生きたミュージアムです。</p>	
<p>グレイスラム(ラム酒工場)</p> <p>旧空港の跡地を利用してあり、建物には「南大東空港」の文字が残っています。</p> <p>※工場見学は行っていない。</p>	
<p>玉置記念碑</p> <p>無人島だった南大東島の開拓に成功した玉置半右衛門を讃える碑。南大東島役場から徒歩約 15 分。静かな森の中にあります。</p>	
<p>軌道跡</p> <p>日本史上もっとも南に位置する鉄道で、サトウキビ運搬の専用鉄道として敷かれ、島のあちこちに残る線路跡にかつての面影を垣間見ることができます。</p>	
<p>シュガートレイン</p> <p>開拓時代から約 80 年間、サトウキビの島内運搬を担っていました。現役を退いてからは開拓時代のシンボルとして文化センター横に展示されています。</p>	
<p>国標</p> <p>1885 年(明治 18)日本政府国標を立て、沖縄県に所属しました。</p>	

<p>亀池港</p> <p>南大東3港で最ものんびりした港。海が荒れるとゲートが閉じられます。西港が荒れている場合に貨客船の接岸があります。普段は釣り人が多い場所です。</p>		
<p>西港</p> <p>西港は魚影も濃く足場も安定しているので、普段は地元の人達が釣り三昧している場所だが、台風が接近するともの凄い高波がたたきつける場所です。</p>		
<p>夕日の広場</p> <p>島で夕日が一番綺麗に見ることができます。星野洞と西港の間にありますので、星野洞見学のあとにお立ち寄りください。</p>		
<p>ミレニアムパーク</p> <p>ミレニアムパークには東屋の他にトイレなどもあり、また海側の壁の先にはシュガートレインのレール跡もあります。西向きの公園なので1年を通して夕日を楽しめる公園です。</p>		
<p>高層気象観測(気球飛揚)見学</p> <p>南大東島地方気象台では1日2回気球による高層気象観測を行っています。</p> <p>朝(08:30)の飛揚を見学することができます。(職員説明なし、予約不要)</p>		

(2) 娯楽施設(ビーチ、キャンプ場、ゴルフ場)

名称等	写真
<p>フロンティアパーク(キャンプ場) 開拓 100 周年のメモリアルパークであり、芝はキャンプ場としても利用できます。 ※1 泊 300 円</p>	
<p>塩屋プール 自然プール。断崖絶壁に囲まれ砂浜のないこの島で海水浴ができるよう海辺の岩を掘って作られました。満潮・高潮時には水没します。</p>	
<p>南大東ゴルフ場 南大東島唯一のゴルフ場(ショートコースのみ)です。</p>	

(3)自然資源

名称等	写真
大池のオヒルギ群落 南大東のオヒルギは内陸の池のふちに生育し、外洋から隔離された世界的にも珍しい内陸封鎖型のマングローブです。	
南大東東海岸植物群落 南大東の東側の海岸付近の岩場と防風林一帯には、天然記念物を含む多種の海岸植物の混生した群落がみられます。	
ダイトウオオコオモリ 翼手目オオコウモリ科の大東諸島だけに生息する固有亜種で学術上貴重な存在。 翼を広げると80cm以上にもなる大型種で、首のまわりの体毛が美しい白色や金色である点が大きな特徴です。	
さとうきび畑 大東島の歴史を伝え、島の風景をつくる広大なサトウキビ畑です。	
秋葉地底湖 人の手が加わっていない地底に広がる湖です。 景色・空気・音すべてが神秘的な空間です。	

(4)特産・名物

名称等	写真
大東寿司 醤油ベースの特性タレにサワラ、マグロを漬け込み、甘酢めしで握る。タレは数種類の調味料をブレンドしたもので、各家庭ごとにその味わいには違いがあります。	
大東そば 昔ながらの手作りで灰汁(ガジュマルの木)を使って充分に手で練り込んだこしのある麺でとなっています。	
大東羊羹 南大東では昔から保存に適した「羊羹」がよく食べられていました。その起源は入植者が八丈島からの移民であったことに依ります。種類も多く南大東を代表する特産品です。	
パパイヤの加工品 パパイヤの加工品には数種類ある。島のパパイヤを利用した漬け物で、自然なパパイヤの味を大切にしています。	
あっ！ソーカ ソーカとは月桃(げつとう)と呼ばれるハーブです。 独特の風味をもつ月桃を生地に練り込みカラッと揚げたかりんとうです。 一口頬張ると後味に爽やかな月桃の風味が漂います。	

<p>いか燻製(スライス・足) 南大東島近海で獲れた新鮮なソディカをチップで美味しくスモークしました。</p>	
<p>大東まんじゅう 「大東」の焼き印入りのおまんじゅう。やさしい甘さのかぼちゃ餡入りです。</p>	
<p>COR COR (コルコル)ラム酒 南大東産サトウキビから製造したラム酒です。 瓶詰めからラベル貼りまで全て手作業のため、限られた本数しか製造できませんが、それゆえ心を込めてお届けいたします。</p>	
<p>沖縄ラム酒ケーキ COR COR を使ったラム酒の香り高いスポンジケーキです。</p>	
<p>マグロジャーキー(甘口・辛口) 新鮮なまぐろを素材にした南大東島特産の珍味。南大東島近海で取れるキハダマグロを使い作りました。 新鮮なキハダマグロを独自のタレにつけ込み、一晩かけて焼き上げた燻製まぐろジャーキーです。</p>	

<p>シージャーキー(甘口・辛口)</p> <p>マグロを知り尽くした島だからこそ完成した「味」その味の完成には 10 余年の歳月を費やしました。</p> <p>カット面を意図的に粗く加工することで味が「浸みた」こだわりのジャーキーになりました。</p>	
<p>さわらジャーキー(甘口・辛口)</p> <p>南大東島近海で獲れるさわらを使い作りました。新鮮なさわらを独自のたれにつけ込み一晩かけて焼き上げた薰製さわらジャーキーです。</p>	
<p>黒蜜スティック</p> <p>糖蜜の浸みこんだ軽いスナック菓子です。</p>	
<p>月桃ボール</p> <p>月桃粉末を練りこんだ香りのよいお饅頭です。</p>	
<p>大東月桃の工芸品</p> <p>月桃を乾燥させて作る編込み細工の工芸品。</p> <p>バッグや帽子、生活用品等かわいらしくて実用的なものが数多くあります。</p>	
<p>南大東海塩</p> <p>化粧品で有名なノエビア社が海水から作った天然塩です。</p>	

南大東産とうもろこし

南大東産のゆでトウモロコシ。甘みが強いのが特徴です。



TERIHA タマヌオイル

自然豊かな南大東島のテリハボクの実から採れた高純度天然オイル「タマヌオイル」。

ヨーロッパや南太平洋諸国で人気の全身に使用できるオイルです。



(5)年中行事

名称等	写真
<p>観音祭 開催期間:毎年 7月 17 日 主催者: 開催場所:観音山 家畜の無病息災と繁盛を祈願し毎年7月17日を祭日としています。各字輪番制で仏式による祭事を行います。</p>	
<p>南北親善競技大会 開催時期:毎年 6月 第4土・日曜日 主催者:南大東村体育協会 開催場所:隔年北大東村と交互に開催 南北大東村の親睦を深めるスポーツ大会です。</p>	
<p>旧盆エイサー 開催時期:毎年旧暦7月 13 日～15 日 主催者:青年会 開催場所:島内 南大東島では旧盆に青年会を中心にエイサーが行われます。旧盆の間は夕方から夜遅くまで村内の各地域を練り歩き、若者たちが島唄と三線の音色にあわせて勇壮な舞いを披露します。</p>	
<p>豊年祭 開催時期:毎年 9月22～9月23日 主催者:南大東村 開催場所:大東神社村民の杜公園 さとうきびの豊作を祈願する祭事。各字で御輿を担ぎ、島中を山車が曳行されます。</p>	

<p>豊年祭奉納相撲</p> <p>開催時期:毎年 9月23日</p> <p>主催者:豊年祭実行委員会</p> <p>開催場所:大東神社</p> <p>豊年祭りの本祭(2 日目)に、大東神社にある土俵で奉納相撲大会が行われます。</p>	
<p>金刀比羅祭り</p> <p>開催時期:毎年 10月 10 日</p> <p>主催者:南大東村</p> <p>開催場所:金毘羅宮</p> <p>航海・港湾荷役・出漁の安全を祈願して行われる。港湾関係者及び漁業従事者を中心とした村内有志による神式の祭事です。</p>	
<p>産業まつりボロジノフェア</p> <p>開催時期:毎年10月中旬</p> <p>主催者:南大東村役場</p> <p>開催場所:南大東村内</p> <p>島の特産品・民芸品等を一堂に集めた販売イベントです。</p>	
<p>ボロジノ角力大会</p> <p>開催時期:毎年10月中旬</p> <p>主催者:南大東村青年連合会</p> <p>開催場所:屋根付き相撲場</p> <p>ボロジノフェアの中で開催。</p>	
<p>納涼祭</p> <p>開催時期:毎年10月中旬</p> <p>主催者:南大東村青年連合会</p> <p>開催場所:南大東村内</p> <p>産業まつりボロジノフェア終了後の夜に行われます。この日は島に年に一度の花火が打ち上げられます。</p>	

秋葉祭

開催時期:毎年11月16日

主催者:南大東村

開催場所:秋葉神社

火災防難を祈願し毎年11月16日を祭日としています。

各字輪番制で神式による祭事を行います。



(6)宿泊施設

名称等	外観
ホテル よしざと 住 所 南大東村字在所 253 電 話 09802-2-2511 収容人数 ホテルタイプ 60 名 民宿タイプ 30 名	
コテージ KIRAKU 住 所 南大東村字池之沢 341 電 話 09802-2-2293 収容人数 35 名	
月桃ムーンピーチ 住 所 南大東村字新東 493 電 話 09802-2-2017 収容人数 – ※在所に宿泊施設を増改築中	
プチホテル サザンクロス 住 所 南大東村字在所 94-1 電 話 09802-2-2792 収容人数 14 名	